

【研究主題】 仲間と共に伸び伸びと主体的に学習に取り組む生徒の育成

～言語活動を充実させる学習形態の工夫を通して～

【努力点】 思考し、表現する力を高める『実践モデルプログラム』を活用した授業を実践する。

1, 単元名 文明のおこりと日本の成り立ち

2, 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領【歴史的分野】の内容(2)「古代までの日本」における(ア)「人類が出現し、やがて世界の古代文明が生まれたこと、また、日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことを理解させる。」、(イ)「国家が形成されていく過程のあらましを、東アジアとのかかわり、古墳の広まり、大和朝廷による統一を通して理解させる。」の内容に位置づけられている。

本単元は、人類の出現および進化の過程と約一万年前から6世紀までのわが国の成立過程を大陸との交流に着目させながらとらえることをねらいとしている。約400年前にアフリカで誕生した人類は進化を継続し、生活する場を世界中につくった。地球が氷河期を終えると人類は文明を起し、国家の骨組みを形成していった。わが国も縄文、弥生時代を経て各地域に邪馬台国のような小さな国が生まれた。その国々を統合し大和政権が誕生した。また、大陸との交流も行われており国家の基礎ができていった時期である。このように本単元で学習する内容は、わが国の古代から今に続く文化について理解させるとともに、今後の歴史的分野の学習に興味・関心をもたせる上で意義が大きいものであるといえる。

(2) 生徒について

生徒は小学校6年生で「国づくりへの歩み」の単元で「弥生時代(米作り)」「くにづくり(卑弥呼)」「古墳時代(大和朝廷)」を学習している。この学級の生徒は、大半の生徒が社会科の授業に興味・関心を持って取り組んでいる。基礎的な事項の発問に対する挙手も多く、小学校で身につけた知識を生かすことができている。今後、資料の活用を数多く行うことで、資料活用能力や思考・判断能力を伸ばすことが期待できる。

(3) 指導について

本校の研究主題は「仲間と共に伸び伸びと主体的に学習に取り組む生徒の育成～言語活動を充実させる学習形態の工夫を通して～」である。それをうけ「思考し、表現する力を高める『実践モデルプログラム』を活用した授業を実践する。」という社会科の目標を設定した。この目標に達するため「協力して考え、調べ、まとめそれをきちんと発表できる」授業を展開していきたい。また、本単元では、国際関係とも関連を図りながら、史跡などの写真、史料の読解、模型を通し、興味関心を持ち思考できる場をつくっていきたい。

3, 単元目標 (本時 2 / 6)

小単元	目標	評価
<p>世界の古代文明と宗教のおこり</p> <p>人類の出現と進化</p> <p>新石器時代</p> <p>文明のおこり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人類が進化してきた過程や人類の特徴を理解する。</li> <li>● 農耕・牧畜によって社会が変化し、文明がおこったことに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人類の進化の過程について、その概略をとらえている。(知識・理解)</li> <li>● 旧石器時代と新石器時代の違いをとらえている。(知識・理解)</li> </ul>
<p>文明の発展</p> <p>宗教のおこり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 古代文明の特色を、生活技術の発達や文字の使用などを通して理解する。</li> <li>● 世界の宗教のおこりについて、文明地域との重なりに着目して、その特徴を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文字や金属器の使用など、世界各地でおこった文明の共通点について考察している。(思考・判断・表現)</li> <li>● 仏教, キリスト教, イスラム教の特色を大まかにとらえている。(知識・理解)</li> </ul>
<p>世界の古代文明と宗教のおこり</p> <p>中国文明の発生</p> <p>統一帝国の成立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国の古代文明の特色を理解する。</li> <li>● 中国の古代文明が日本に与えた影響について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国から伝わった文物に関心を持っている。(関心・意欲・態度)</li> <li>● 中国の古代文明について、殷から漢までの大きな流れを理解している。(知識・理解)</li> </ul>
<p>日本列島の誕生と縄文文化</p> <p>日本列島の誕生</p> <p>縄文文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本列島における旧石器時代の人々の生活の様子を、具体的にとらえる。</li> <li>● 縄文時代の人々の生活の様子を、考古学の成果を活用しながら具体的に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な遺物や遺跡の発掘など考古学の成果に関心を持っている。(関心・意欲・態度)</li> <li>● 様々な資料から、日本列島で狩猟・採集の生活を行っていた人々の生活の特色についてとらえている。(技能)</li> </ul>
<p>弥生文化と邪馬台国</p> <p>弥生文化の成立</p> <p>国々の誕生</p> <p>邪馬台国の女王</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 弥生時代の人々の生活の様子を、考古学の成果を活用しながら具体的に理解する。</li> <li>● 日本の国家が形成されていく過程のあらましを、東アジアとのかかわりを通してとらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な遺物や遺跡などから、弥生時代の人々の生活に関心を持っている。(関心・意欲・態度)</li> <li>● 中国の文献などから、国家が形成されていく過程について考察している。(思考・判断・表現)</li> </ul>
<p>大王の時代</p> <p>大和政権の発展</p> <p>古墳文化</p> <p>中国・朝鮮半島との交流</p> <p>大陸文化を伝えた渡来人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大和地方を中心に国内が統一されたことを、古墳の広まりを通して理解する。</li> <li>● 様々な資料を通して、日本と中国・朝鮮半島との交流について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域に残る古墳や渡来人に関係する地名などに関心を持っている。(関心・意欲・態度)</li> <li>● 遺物・遺跡などの具体的な資料を通して、古墳文化の特色をとらえている。(技能)</li> </ul>

#### 4, 指導計画

##### (1) 世界の古代文明と宗教のおこり

①人類の出現と進化新石器時代文明のおこり 【1時間目】

②文明の発展宗教のおこり 【2時間目】(本時)

③中国文明の発生統一帝国の成立【3時間目】

##### (2) 日本列島の誕生と縄文文化

日本列島の誕生, 縄文文化【4時間目】

##### (3) 弥生文化と邪馬台国

弥生文化の成立、国々の誕生、邪馬台国の女王【5時間目】

##### (4) 大王の時代

大和政権の発展、古墳文化、中国・朝鮮半島との交流、大陸文化を伝えた渡来人【6時間目】

#### 5, 本時の指導

##### (1) 小単元名「文明の発展、宗教のおこり」

##### (2) 目標

- ・古代文明の特色を、生活技術の発達や文字の使用などを通して理解する。
- ・世界の宗教のおこりについて、文明地域との重なりに着目して、その特徴を理解する。

##### (3) 展開

過程	時配	学習活動と内容	指導・支援 評価○
導入	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1、興味を持つ</div> <p>「0が発見されたインダス文明」 「メソポタミアの意味」</p> <p>自分が予想した答えを、挙手をし、聞き取りやすい、はきはきした声で答える。</p>	<p>板書の工夫 テンポの工夫 0の掲示 ジグラッドの写真掲示</p> <p>補助説明：「今、私たちが数学や日常生活で使っていることは、四大文明でできました。」</p>
展開	15	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">四大文明の特色と、文明の共通することを調べ、確かめよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2、基本をおさえる</div> <p>課題 「四大文明の特色をまとめよう」 ↓ 班で調べ合い、課題を解決する。 (予想される生徒の答え)</p> <p>○エジプト文明ー(ナイル川) 太陽暦、象形文字、ピラミッド、スフィンクス</p> <p>○メソポタミア文明(チグリスユーフラテス</p>	<p>ワークシートに 一番初めに調べる事項に矢印をつけておく。 ↓ 班ごとに矢印のついた項目を発表させる。</p>

	<p>川) ー太陰暦、くさび形文字、ハムラビ法典</p> <p>○インダス文明ー(インダス川) カースト制、モヘンジョ・ダロ</p> <p>○黄河文明ー(黄河) 甲骨文字</p> <p><b>3、発表する。</b></p> <p>聞き取りやすい、はきはきした声で発表する。</p>	
	<p><b>4、予想する、考える、話し合う</b></p> <p>↓</p> <p><b>5、発表する</b></p> <p>聞き取りやすい、はきはきした声で発表する</p>	※班による、話し合いを深める。
8	<p>課題①「四大文明に共通する場所はどこか。」</p> <p>(予想される生徒の答え)</p> <p>○川の流域に発生</p>	○文字や金属器の使用など、世界各地でおこった文明の共通点について考察しているか。(思考・判断・表現)
8	<p>課題②「なぜ、川の流域に文明が発生したのか考えよう。」</p> <p>↓</p> <p>班で話し合い、課題を解決する。</p> <p>(予想される生徒の答え)</p> <p>○川の河口は土地が肥えている。</p> <p>○土地が肥えていれば農作物がよく育つ。</p> <p>○川はものを運べる。</p> <p>○食べていけるのでおのずと人が集まる</p>	補助発問：「河川の役割について考えよう。」
8	<p>課題③「なぜ、文字、数字や暦、制度ができたのか考えよう。」</p> <p>↓</p> <p>班で話し合い、課題を解決する。</p> <p>(予想される生徒の答え)</p> <p>○文字 記録を残すため、言葉ができたため。</p> <p>○暦、数字 洪水を知るため、農耕の時期を知るため ものを計測するため。</p> <p>○法律</p>	補助発問：「人が集まるとどんなことが必要になるか。」

		<p>多くの人が集まるとリーダーが生まれ、よりよく生きるための約束や規則などを決める必要が出る。</p>	<p>● 補足説明：「このように人が集り、文明が発達していきました。」</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>世界の宗教のおこりについて、確かめよう。</p> </div>	
	8	<p><b>6、挙手をし、発表する。</b></p> <p>発問①「モヘンジョ・ダロとは死者の丘という意味だが、なぜそんな名前がついたのか。」 (予想される生徒の答え)</p> <p>○先住民とアリア人との間に戦争がおき、たくさんの人が亡くなった。</p> <p>○モヘンジョ・ダロが発見されたときたくさんの死がい横たわっていた。</p> <p>発問②「カースト制度を批判して生まれた宗教は誰がつくった何教か。」 (予想される生徒の答え)</p> <p>○釈迦 ○仏教</p> <p>発問③「三大宗教といわれているが、あと2つの宗教とは何か。」 (予想される生徒の答え)</p> <p>○キリスト教 ○イスラム教</p> <p>班指名で発表する。聞き取りやすい、はきはきした声で発表する。</p>	<p>※ 個々で予想したこと、わかったこと、知っていることを発表させる。</p> <p>補助発問：「教科書の23ページ（～アリア人の侵入～）を読んでみよう。」</p> <p>補足説明：「その後アリア人は、カースト制という、厳しい身分制度をつくりました。」</p> <p>補助発問：「身分が低い人は苦しい生活を強いられました。この世の苦しみから逃れられるといった人は。」</p> <p>○仏教、キリスト教、イスラム教の特色を大まかにとらえているか。(知識・理解)</p> <p>補助発問：「教科書P23をみてみよう」</p>
整理	5	<p><b>7、まとめを聞く。</b></p>	<p>教科書の地図を確かめながら説明： 「P、23の地図を見てください。エジプト文明とメソポタミア文明をあわせオリエント文明といいます。その周辺ではキリスト教、イスラム教がインダス文明周辺では仏教が。このように文明と宗教は関連しています。」</p>

(4) 評価

- 古代文明の特色を、生活技術の発達や文字の使用などを通して理解できたか。
- 世界の宗教のおこりについて、文明地域との重なりに着目して、その特徴を理解できたか。

